

新国技館「木のしんが」

贈呈に御神木一役

抽籤資金 由緒ありと採用

樹齢530年の 天然木曾ヒノキ

上松町の有志

新国技館の建設資金として、上松町の有志が、樹齢530年の天然木曾ヒノキを、抽籤資金として採用した。このヒノキは、上松町の御神木として、古くから大切に守られてきた。このヒノキを、抽籤資金として採用することになったのは、上松町の有志が、このヒノキを、抽籤資金として採用することになったからである。このヒノキは、上松町の御神木として、古くから大切に守られてきた。このヒノキを、抽籤資金として採用することになったのは、上松町の有志が、このヒノキを、抽籤資金として採用することになったからである。



このヒノキは、上松町の御神木として、古くから大切に守られてきた。このヒノキを、抽籤資金として採用することになったのは、上松町の有志が、このヒノキを、抽籤資金として採用することになったからである。このヒノキは、上松町の御神木として、古くから大切に守られてきた。このヒノキを、抽籤資金として採用することになったのは、上松町の有志が、このヒノキを、抽籤資金として採用することになったからである。